

緊急解説！2次補正予算対応版

[2020年6月25日速報版]

新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様への支援策


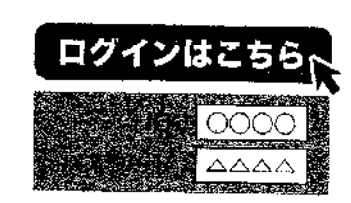



新型コロナウイルス感染症が様々な分野に深刻な影響を与えており、政府から中小企業に様々な支援策が打ち出されています。本セミナーでは「緊急解説企画」として、雇用調整助成金、持続化給付金、家賃支援給付金、各種補助事業や資金繰り支援について解りやすく解説します。

株式会社Ideal Works 代表取締役/中小企業診断士 **井手 美由樹** (いで みゆき)

セミナー・オンデマンドの視聴方法

使い方はとても簡単！すぐにご利用になれます

<p>STEP 1</p> <p>所属法人会のHPよりセミナー・オンデマンドサイトにアクセス</p>  <p>インターネットセミナーのバナーを選択します</p>	<p>STEP 2</p> <p>ID・パスワードを入力してログイン</p>  <p>ログインはこちら</p> <p>※ID・パスワードは所属法人会にお問合せください ※ログイン不要でご覧になれるオープンセミナーもあります</p>	<p>STEP 3</p> <p>学びたいセミナーをお選びください</p>  <p>※様々なジャンルで500タイトル以上の豊富なセミナー</p>
--	---	---

その他600タイトル以上を配信


法人会ニュース

発行日 R 2.9.10
(公社)平戸法人会
859-5113
長崎県平戸市木引田町
4 3 3 番地

マイナンバーカードの取得促進に向けた説明資料並びにアンケートご協力のお願い(回答締め切りが9/18です)

1 マイナンバーカードの取得促進に向けた説明資料の周知
マイナンバーカードのメリット等を紹介する説明動画や説明資料のリンク先を国税庁ホームページに掲載しておりますので、リンク先の説明動画や説明資料を御覧の上、マイナンバーカードの取得を御検討願います。


【国税庁ホームページ】
「社会保障・税番号制度<マイナンバー>について」>「国税の番号制度に関する情報」>「その他関係府省庁作成資料(外部サイトへのリンク)」

URL	QRコード
https://www.nta.go.jp/taxes/tetsuzuki/mynumberinfo/jyoho/index.htm	

2 アンケート調査への協力依頼
本アンケートは、マイナンバーカードの取得促進に向けて実施するものであり、御所属の企業や団体等に対して、可能な範囲で任意で御回答をお願いしております。
なお、アンケート結果につきましては、取りまとめて公表する場合がございますが、個別の回答を公表することはありません。

【アンケート内容】
5分程で回答(8個の質問に対し、選択肢で回答)できる簡単な内容です。

【アンケートの回答方法】
スマートフォンやパソコンを使って、下記URL又はQRコードからアンケートサイトにアクセスし、令和2年9月18日(金)までに御回答ください。

URL	QRコード
https://www12.webcas.net/form/pub/mynumbercard/01	

家族のあり方も見つめ直す—コロナ後の日常

産業カウンセラー 柏木勇一

◆在宅勤務で知った家族関係

地域によって程度は異なりますが、新型コロナウイルス感染問題は、「ステイ・ホーム＝家にいなさい」という現象が示すように、働く人々とその家庭にも影響しました。感染拡大が終息したわけではありません。コロナをめぐる様々な対応が、働き方や家族のあり方に与えた課題は大きく、新しい日常のあり方が問われています。

働く現場の変化は、在宅勤務、テレワーク、リモート会議などの言葉に示されています。これも地域によって、そして工場など業種業態によっても異なりますが、「自宅での仕事に集中したいが、学校も休みでみんな家にいる。うるさくて集中できない。つい、妻や子どもに怒鳴ってしまった。どうしたらいいか」という相談が4月、5月は結構ありました。コロナウイルスが投げかけた問題のひとつとして、家族のコミュニケーションの重要性を感じました。「家族の新しいあり方を見つめ直す機会」と、とらえてみませんか。

◆家族みんなを尊重していますか

こういう質問を、相談をしてきた方に投げかけました。電話での話し合いです。ちょっと沈黙がありました。もし面談だったら、視線をずらして考え込んだかもしれません。出てきた答えは「急にそう言われても、尊重なんて普段は考えていませんね」でした。

家族間のコミュニケーションには、夫婦と親子という2つの関係性があります。どちらにも大切なことは、相手を尊重できるかどうか、ということです。子どもは子どもの、母親なら母親の、それぞれ異なる人格、価値観、考え方があることを忘れないでください。一応、ここでの子どもは、小学校高学年以上を想定しています。その人となりは形成されています。子ども扱いすると危ないです。自分本位の大人の考え方を優先して対応すると、親子の間に溝が生じます。夫婦間でも同じでしょう。

イライラしている時は、自分自身の価値観を前面に出している時です。いったん気付いたら、相手の立場も考えてください。学校に行けない、外で友達と遊べない、子どもだって悩んでいるんだ、と考えることができれば怒鳴らないでしょう。この話をした時、相談者からは「みんな辛いんですね」と納得の言葉が返ってきました。

◆アイ（I）メッセージのコミュニケーションを

これは、「あなたはダメだ。あなたは間違っている」と伝えるのではなく、「私はこう思う」と、自分を主語にして、自分の気持ちや考え、時には感情を言葉にして伝えることです。この話し方のメリットは、相手に意見を押し付けるような印象を与えないことです。つまり相手を尊重するコミュニケーションです。例えばテレワークの準備で資料を作成中、子どもが隣でゲームを始めました。「父親が仕事にゲームとは何だ、けしからん」と思い、イライラが強くなると、「うるさい」と大声が出ます。こんな時「外に行けないからお前もイライラしているのは分かる。こっちの仕事が一段落するまで30分でもいいからゲームはやめてくれないか」という言葉が出れば、子どもも分かってくれるはずです。

コロナ禍がもたらした職場と家庭の変化。危機感を持つことも大事ですが、新しい試みを考え実現していく好機ととらえることも欠かせないでしょう。家族関係の見直し、親子間の信頼につながります。ここで示した、相手を尊重するコミュニケーションは、家庭だけではなく職場でももちろん通用します。ぜひ試みてください。

【筆者紹介】柏木勇一（かしわぎ・ゆういち）1941年生まれ。大学卒業後、新聞社勤務を経て、現在EAP企業でカウンセラーとして活動。産業カウンセラー、家族相談士、交流分析士。

公益社団法人平戸法人会合同税務研修会

日時 9月23日（水）午後3時10分から

会場 ホテル彩陽 WAKIGAWA

テーマ あなたの相続税どうなる？

講師 平戸税務署長 阿部 正行 氏

会費 無料

※参加ご希望の方は準備の都合上

0950（23）3937 事務局へご連絡下さい

参加者
募集中

1つの間違い探し



ペーパーレス妨げる日本の商慣習とは

ジャーナリスト 海部隆太郎

先日、大学教授（科学者）取材する機会があった。貴重な話を聞いた後の雑談で「鶏が先か卵が先か」の考え方を面白おかしく語ってくれた。要約すると生物の進化を考えれば、もちろん鶏が先になるのだが、それで終わってしまえば話はずまらない。どちらが先なのか結論の出ない“命題”のように捉えるからこそ、いまだに「鶏と卵」議論が廃れずに生き残っているのだという。

「鶏と卵」は子供の頃、むきになって同級生と議論したことがあった。さらに、その頃はやった漫才で「地下鉄はどうやって車両を地下に入れたのでしょうかね」「渋滞の先頭はどうなっているのでしょうか」などを連想的に思い出してしまった。もちろん、今は答えをすぐに見いだせるが、当時は言葉に詰まり、本当にどうなんだろうと真剣に考えていたと思う。

似たような話は、たくさんある。だが、笑える話をまとめただけでは、読者の方から聲（ひんしゆく）を買うのは間違いないはず。本題に移らなければいけないのだろう。だが、ここで指摘したかったのは、答えが分かっているが、少しだけつまづいてしまうような話の面白さと、疑問に思うことの大切さを感じるべきではないかということだ。

無くせるか日本の文化“押印”

さて、コロナ禍で働き方が大きく変わりつつある。以前はテレワークと称した在宅勤務は、リモートワークに置き換えられ、混雑した通勤電車を避け、概ね快適な仕事環境が得られるようになった。運動不足による皮下脂肪の増加など副作用はあるが、会社に行くことがサラリーマンの仕事という概念を崩すきっかけになったと思う。コロナウイルスの功罪を語っているのではない。

その一方で、「請求書の発行や決済押印のためだけに会社しなければならない」という声もよく聞く。それならばパソコン上で押印ができればいいと思うが、現状はそれをプリントするのがオチ。デジタル化の流れの中でアナログが捨てきれない紙書類をかたくなに守るのが日本の商慣習だ。

日本を代表する、あるIT企業の担当者は「紙書類が果たしてきた原本性を絶対視する文化は根強い」と話す。紙による原本性は、耐改ざん性があるからだ。ではどうするか。書類を電子化して原本性を保証する仕組みがあればいい。技術的には存在するが、法整備への議論がこれから。だが、デジタル文書が本物で、プリントしたら紙はコピーとなる世の中が必ずやってくると確信する。欧米だけでなくアセアン諸国の取り組みをみればわかる。

文字ができ紙が発明されてから数千年も続く紙文化を無くせるか、商慣習を変えることへの抵抗感を捨て去ることができるか。だが、世の中はデジタル化の流れでこれに異論を唱える企業は皆無だろう。そこにはペーパーレス化も謳われているのだが、相変わらず紙書類を重視する文化は無くなっていない。「IT化で資料作成が容易になり、プリントする紙が増えた」という話もある。

冒頭の漫才風に言えば「デジタル化が進展しているのに、どうして紙が減らないのですかねえ」と問い直したい。

【筆者紹介】海部隆太郎（かいべ・りゅうたろう）法政大学卒。日本工業新聞社、IT企業を経て独立。中小企業を中心に企業が抱える幅広い課題を取材・執筆活動を展開する。

異なる種の植物を接着して1つの植物として育てる「接ぎ木」は、両方の植物の優れた特徴を「いいとこ取り」できるため、古くから農作物の生産に広く利用されてきました。相性があり、同じ科の近縁種同士でしか行えないのが難点でしたが、名古屋大などの研究チームが最近、どんな植物も自由自在に接着できる酵素をタバコ属の植物から発見。農作物生産の可能性が、大きく広がるかもしれません。

■農業に不可欠な「接ぎ木」

日本でも古くから行われている接ぎ木は、作りたい作物の茎（接ぎ穂）を、台木となる根側の植物につなげ、それぞれの長所を生かした作物を育てる技術です。農作物ではトマトで6割以上、キュウリは9割以上で接ぎ木の苗が使われ、生産に不可欠となっているそうです。

たとえばトマトの場合、現代の消費者には甘さが強く求められますが、甘い実をつける品種の多くは植物の病気に強くありません。一方、病気に強い品種の多くは甘い実をつけません。そこで甘い実の品種の茎を、病気に強い品種の台木につなげる接ぎ木が行われています。

ただ、これまで接ぎ木は同じ科の近縁種でしか実現していませんでした。遠い科の植物同士をつなぐとすると、すぐに枯れてしまい、うまくいかない理由は謎となっていました。そんな中、接ぎ木の仕組みの研究に取り組む野田口理孝・名古屋大准教授らが、タバコの原料となるナス科タバコ属の植物の仲間が、近縁種以外とも接ぎ木ができることを発見したのです。

■「科の壁」越えた接着酵素

多様な植物で試したところ、カボチャやキュウリ、ニンジン、キャベツなどの野菜類、ブドウやリンゴ、ヤナギ、ポプラといった果樹・樹木など、科の壁を越えた38科73種との接ぎ木に幅広く成功しました。

タバコ属植物の茎を別の植物の台木につなぐ実験でしたが、チームはこんな形にも挑戦しました。キクの台木に接ぎ木したタバコ属植物の上にもう1つ、トマトをつないでみたのです。

すると、トマトは1カ月を過ぎても枯れず、小さな赤い実をつけました。ナス科であるトマトは本来、キク科の植物とは接ぎ木ができません。けれど、中間に接着剤代わりのタバコ属植物をはさむことで、できないはずの接ぎ木が実現しました。

続いてチームは、タバコ属植物と他の科の植物を接着した部分で、何が起きているかを調べました。その結果、接着面ではタバコ属植物から、細胞を取り囲んで支える細胞壁という組織を溶かし、両方の植物の融合を促進する酵素が分泌されていることを突き止めました。

■効率的な農業生産に応用へ

この酵素は、接ぎ木が失敗したケースでは分泌されていませんでした。さらに、成功した組み合わせでも、酵素の分泌を抑制してみると成功率は大きく低下。これらの結果から、成否の鍵は接着剤の役割を果たした酵素であると結論づけました。

科の壁を越えた接ぎ木は成功しましたが、研究はまだ始まったばかり。実用化に向けて、今後はきちんと生長できるか、問題が起きないかなどを検証していく必要があります。

それでも、接着剤の酵素の働きをうまく利用すれば、さまざまな長所を持った植物を接ぎ木で自由自在に組み合わせ、消費者のニーズに応じて付加価値の高い多様な品種を効率的に生産できる可能性があるため、期待は大きくふくらみます。

野田口准教授は「将来はタバコ属植物を接着剤として使わなくても、酵素を合成して投与することによって、近縁種の接ぎ木でも生じることが多い植物同士の相性問題を解決できるかもしれません」と話しています。